

経済センサスからみる 川崎市の経済のすがた

平成 30 年 6 月に「平成 28 年経済センサスー活動調査」が発表されました。このデータは平成 28 年 6 月 1 日現在のものであり、事業所・企業の経済活動の状況が分かることが特徴です。そこで、今回は川崎市の「経済」にスポットをあて、事業所数や従業者数、売上（収入）金額などを区別、町丁別にまとめました。



1

産業別従業者数

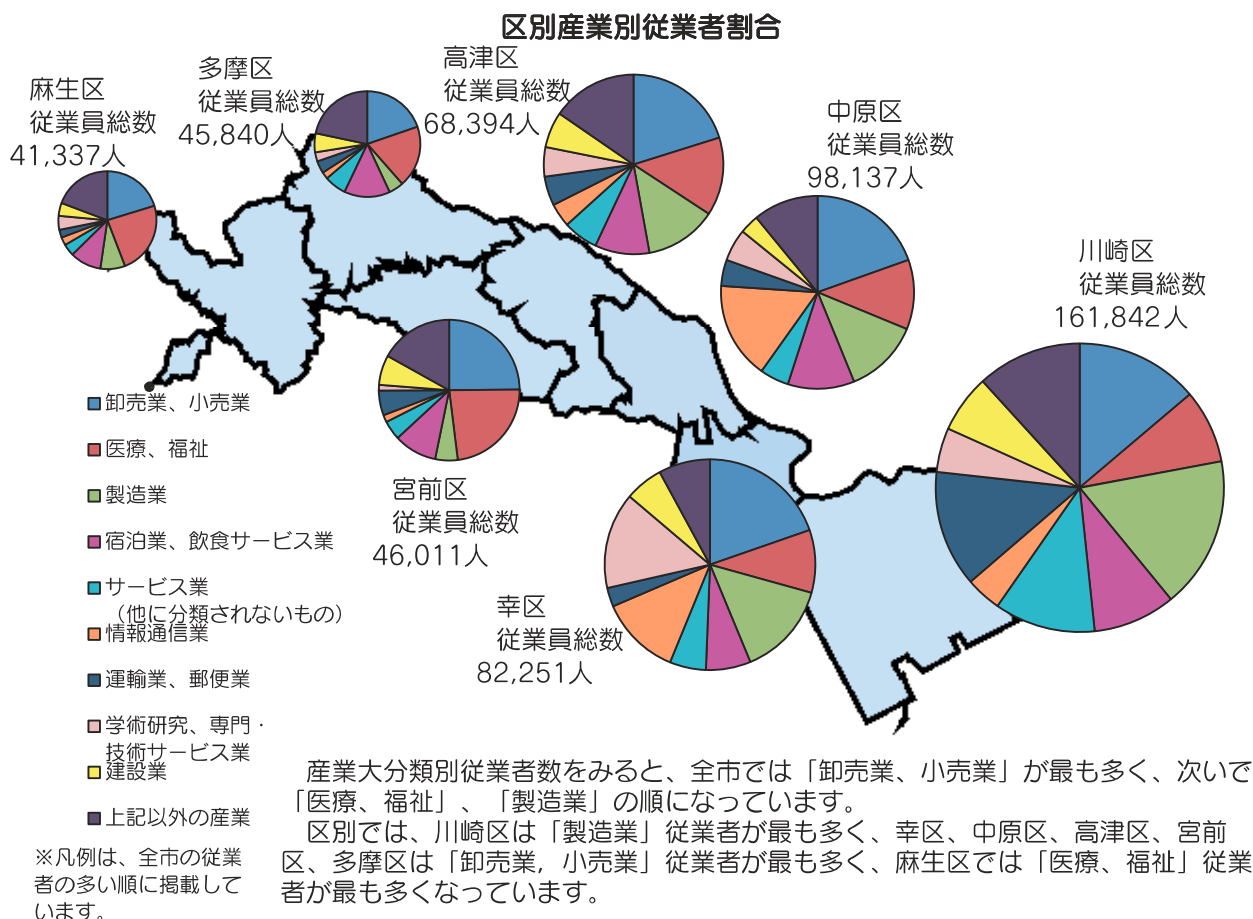
●全市では「卸売業、小売業」従業者数が最も多い

(単位：人)(平成28年6月1日)

産業大分類別	全市	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
全産業(公務を除く)	543,812	161,842	82,251	98,137	68,394	46,011	45,840	41,337
卸売業、小売業	100,393	22,367	16,175	19,187	13,818	11,438	9,044	8,364
医療、福祉	71,516	13,365	7,913	11,415	9,617	10,663	8,625	9,918
製造業	68,482	27,558	11,898	12,389	8,810	2,394	2,087	3,346
宿泊業、飲食サービス業	53,534	14,980	5,653	10,937	6,750	4,530	6,414	4,270
サービス業 (他に分類されないもの)	38,793	18,324	4,567	4,811	4,291	2,066	3,082	1,652
情報通信業	38,364	6,517	10,169	15,912	2,927	766	1,004	1,069
運輸業、郵便業	36,745	21,103	2,390	4,290	3,585	2,597	1,712	1,068
学術研究、専門・ 技術サービス業	32,983	8,027	12,155	5,361	3,644	621	1,262	1,913
建設業	30,420	10,524	4,810	3,111	4,383	3,147	2,685	1,760
上記以外の産業	72,582	19,077	6,521	10,724	10,569	7,789	9,925	7,977

経済センサス活動調査

●南部に行くほど従業者数が多い



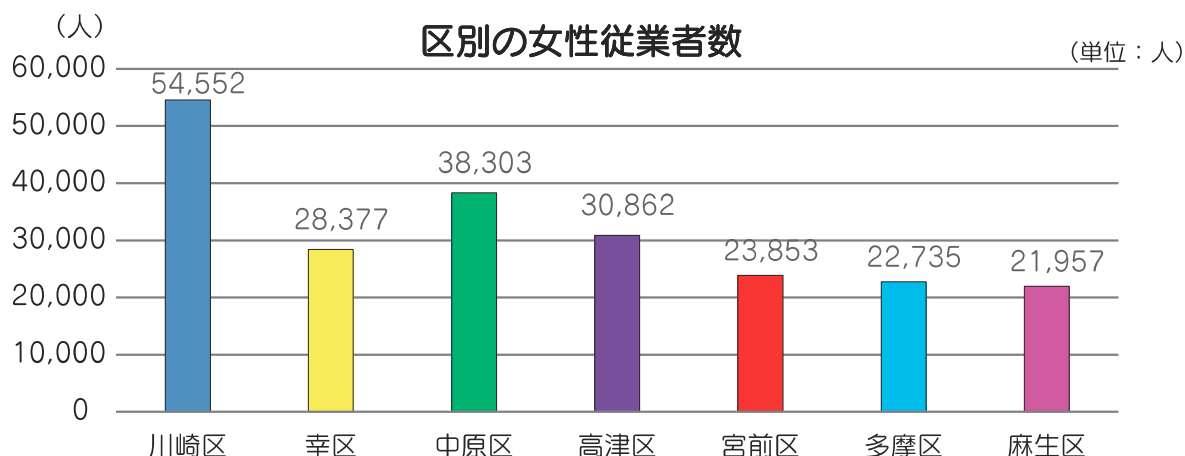
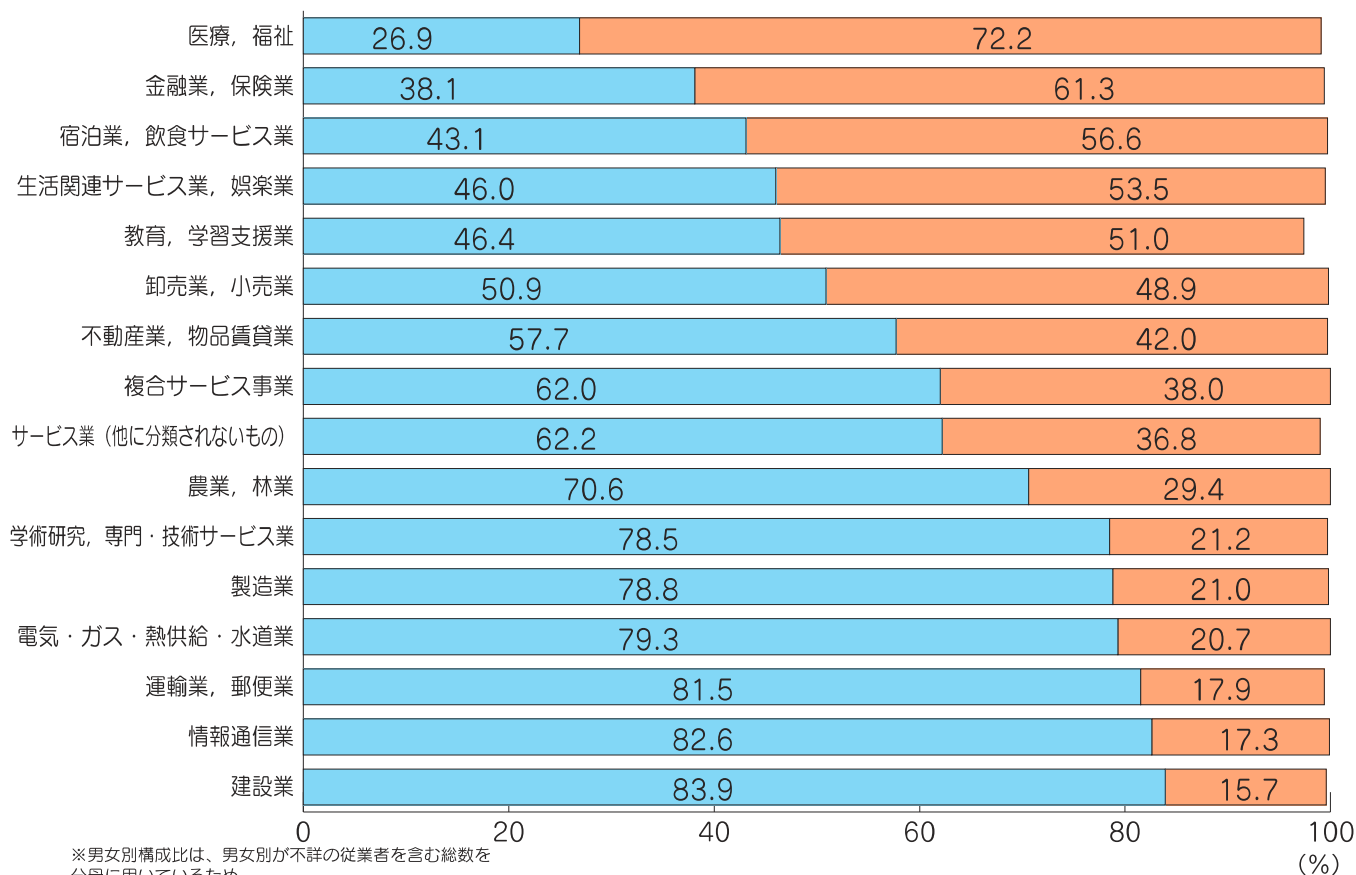
●女性の従業者比率は「医療・福祉」で最も高い

産業大分類別に従業者数の男女別従業者比率をみると、男性は「建設業」が83.9%と最も高くなっています。女性は「医療、福祉業」が72.2%と最も高くなっており、次いで「金融業、保険業」の61.3%、「宿泊業、飲食サービス業」の56.6%となっています。

また、区別に女性の就業者数を見ると、川崎区が54,552人と最も多く、続いて中原区の38,303人、高津区の30,862人となっており、最も少ないのは麻生区の21,957人となっています。

産業大分類の男女別従業者比率

経済センサス活動調査（平成28年6月1日）



●21大都市で比較する従業者数割合

次に「情報通信業」、「学術研究、専門・技術サービス業」、「製造業」の従業者比率を21大都市で比較してみます。「情報通信業」は7.05と、東京都区部の10.74に続いて2番目に高くなっており、「学術研究、専門・技術サービス業」は6.07と1番高く、「製造業」は12.59と6番目に高くなっています。

- ①平成28年経済センサスー活動調査情報通信業従業者数÷全産業従業者数×100
②平成28年経済センサスー活動調査学術研究、専門技術サービス業従業者数÷全産業従業者数×100
③平成28年経済センサスー活動調査製造業従業者数÷全産業従業者数×100

①情報通信業	
東京都区部	10.74
川崎市	7.05
大阪市	5.74
福岡市	5.15
横浜市	4.47
名古屋市	4.36
千葉市	3.62
札幌市	3.57
仙台市	3.38
広島市	3.36
静岡市	2.45
岡山市	2.41
新潟市	2.24
熊本市	2.18
さいたま市	2.00
神戸市	1.77
京都市	1.69
北九州市	1.36
浜松市	1.20
相模原市	0.77
堺市	0.40

経済センサスー活動調査(平成28年6月1日)

②学術研究、専門・技術サービス業	
川崎市	6.07
東京都区部	5.73
大阪市	4.58
横浜市	4.55
福岡市	4.49
名古屋市	4.23
仙台市	4.15
千葉市	3.89
広島市	3.55
札幌市	3.54
神戸市	3.53
北九州市	3.19
熊本市	3.13
さいたま市	3.10
相模原市	3.08
岡山市	3.03
京都市	2.88
静岡市	2.79
新潟市	2.66
浜松市	2.61
堺市	1.79

③製造業	
浜松市	22.50
堺市	18.32
相模原市	16.67
静岡市	15.47
北九州市	12.76
川崎市	12.59
京都市	12.31
神戸市	11.42
新潟市	10.95
岡山市	10.46
広島市	10.38
名古屋市	9.76
大阪市	9.02
横浜市	8.90
さいたま市	7.77
熊本市	7.18
千葉市	6.56
東京都区部	5.83
札幌市	4.31
福岡市	3.44
仙台市	3.37

2

区、町丁別にみた事業所数

●産業大分類別事業所数

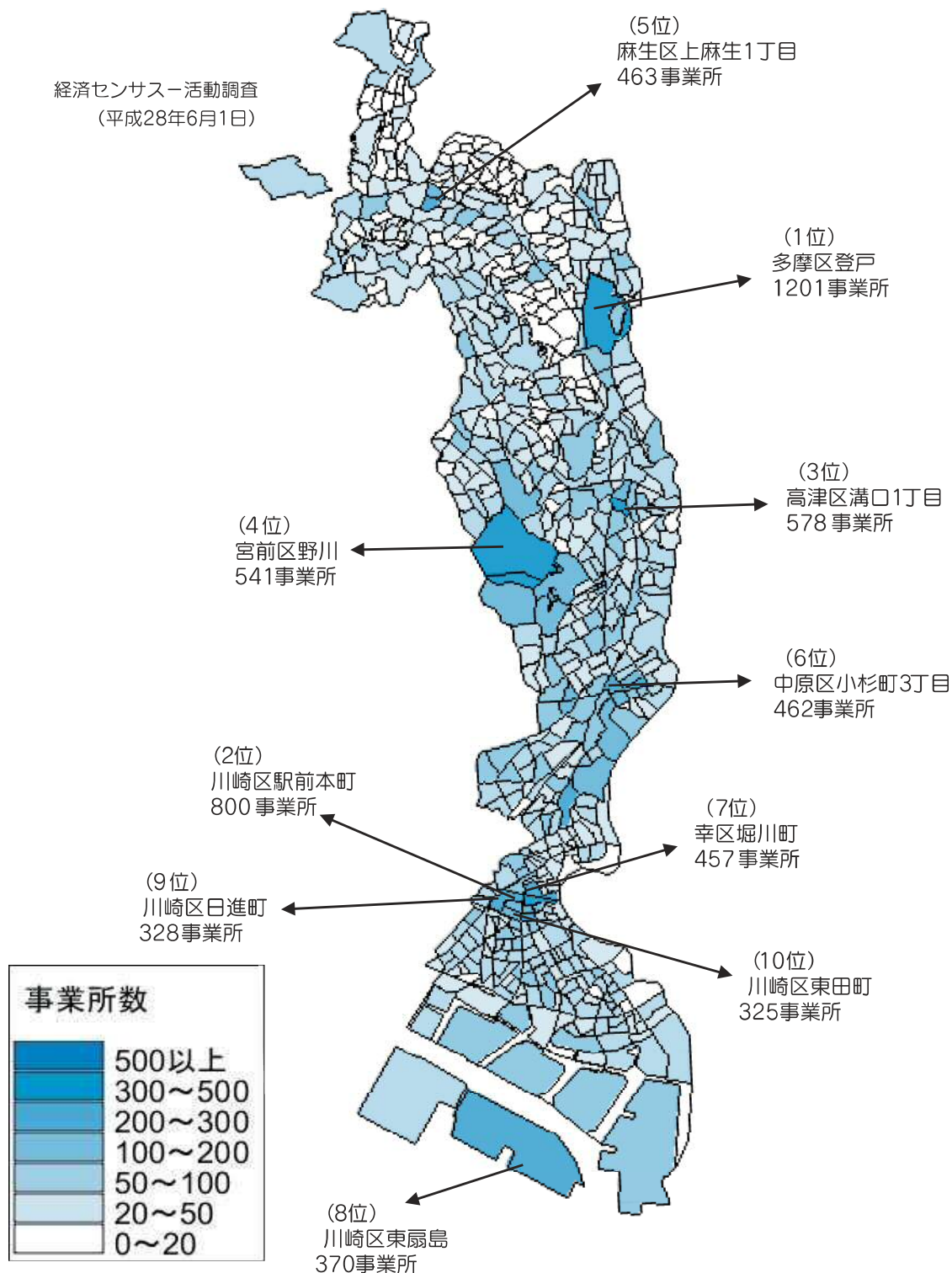
(単位：事業所) 経済センサスー活動調査(平成28年6月1日)

産業大分類	全市	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
総数	40,934	10,839	4,590	7,053	5,905	4,181	4,862	3,504
農業、林業	64	5	7	4	14	11	13	10
漁業	0	-	-	-	-	-	-	-
鉱業、採石業、砂利採取業	0	-	-	-	-	-	-	-
建設業	3,829	1,148	462	433	551	487	470	278
製造業	3,034	853	349	528	674	270	202	158
電気・ガス・熱供給・水道業	23	9	5	1	4	2	2	-
情報通信業	678	143	66	145	99	73	69	83
運輸業、郵便業	1,330	766	139	89	117	110	62	47
卸売業、小売業	8,844	2,326	1,103	1,553	1,150	942	1,004	766
金融業、保険業	469	138	47	87	61	40	46	50
不動産業、物品賃貸業	3,853	855	387	636	703	402	557	313
学術研究、専門・技術サービス業	1,716	433	149	278	220	162	240	234
宿泊業、飲食サービス業	5,827	1,648	636	1,277	734	450	704	378
生活関連サービス業、娯楽業	3,476	801	442	641	465	341	488	298
教育、学習支援業	1,407	218	120	285	193	195	207	189
医療、福祉	4,178	717	451	809	617	496	587	501
複合サービス事業	143	33	17	22	20	19	17	15
サービス業(他に分類されないもの)	2,063	746	210	265	283	181	194	184

区別の事業所数をみると、全ての区で「卸売業、小売業」と「宿泊業、飲食サービス業」の事業所数が多くなっています。また川崎区では「建設業」の事業所数が1,148と市内の全建設業の約3割を占めています。

●地図でみる町丁別の事業所数

町丁別の事業所数をみると、登戸や駅前本町、小杉町などの市内の主要な駅に近い町丁で事業所数が多くなっています。最も事業所数が多いのは多摩区登戸の1201事業所、次いで川崎区駅前本町の800事業所、高津区溝口1丁目の578事業所となっています。また、駅に近い町丁に加え、工場が多く立地する東扇島も事業所数が多くなっています。



3

売上（収入）金額の状況

●産業大分類別売上（収入）金額

(単位：百万円) 経済センサス活動調査(平成28年6月1日)

産業大分類別	全市	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
製造業	4,748,630	3,416,936	224,592	783,678	211,143	35,748	31,289	45,243
卸売業、小売業	3,397,943	1,188,348	599,037	408,423	406,894	420,686	174,620	199,935
情報通信業 (情報サービス業、インターネット附随サービス業)	911,813	128,366	387,836	320,392	48,352	8,681	8,518	9,667
医療、福祉	708,254	259,257	103,669	80,165	65,576	81,238	52,648	65,702
不動産業、物品賃貸業	408,250	85,258	37,825	44,961	77,226	77,258	43,696	42,027
生活関連サービス業、娯楽業	403,875	164,501	33,890	53,022	60,205	26,313	44,967	20,977
学術研究、専門・技術サービス業	389,385	124,495	67,162	89,874	35,579	4,884	44,795	22,597
宿泊業、飲食サービス業	213,581	67,920	22,035	41,416	25,819	17,040	21,622	17,729
農林漁業	8,107	156	4,918	285	571	386	1,216	574

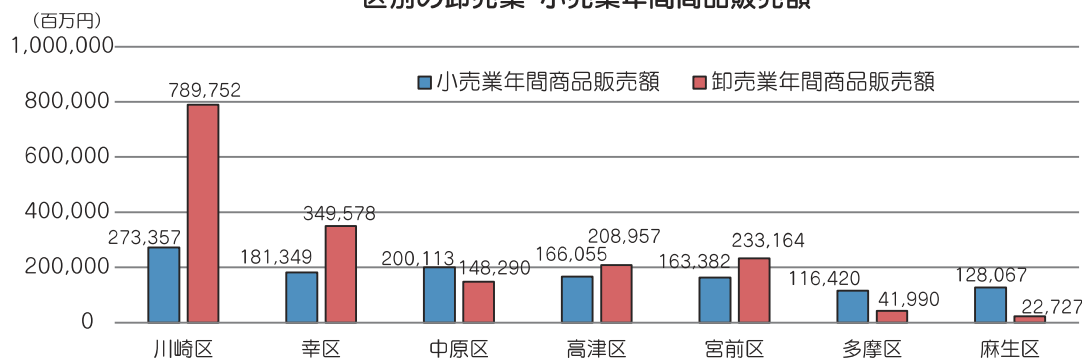
※「売上（収入）金額」とは、商品等の販売や、サービスの提供によって実現した売上高のことを指します。

ここには、企業が保有する有価証券、土地・建物など、財産を売却して得た収入は含まれていません。

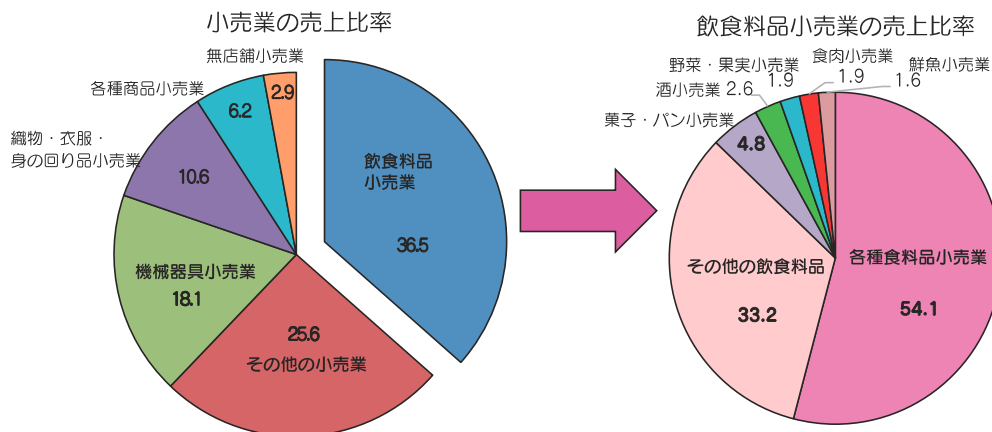
川崎市内の事業所の売上（収入）金額を産業大分類別に上位からみると、製造業が最も多く、続いて卸売業、小売業、情報通信業（情報サービス業、インターネット附随サービス業）となっています。区別に見ると川崎区、中原区は製造業が最も多くなっていますが、その他の区は卸売業、小売業が最も多くなっています。

●年間商品販売額は、卸売業・小売業ともに川崎区が最も高い

区別の卸売業・小売業年間商品販売額



●上記のうち小売業の売上比率



小売業を見てみると、売上比率が最も高いのは「飲食料品小売業」、次いで「その他の小売業」、「機械器具小売業」となっています。次に売上比率の最も高い「飲食料品小売業」を詳しく見てみると、最も売上比率が高いのはスーパーなどの「各種食品小売業」で、次いで「その他の飲食料品小売業」、「菓子・パン製造業」となっています。